県立沼津西高等学校

「行きたい学校づくり」推進事業

【テーマ名】

令 和 ６ 年 度　年 間 報 告

１　＜成果指標と実績＞

＜成果指標と実績＞					
成果指標	Ｒ６当初 初期値	Ｒ８末 目標値	Ｒ６年 実績	Ｒ７年 実績	Ｒ８年 実績
①授業内容に興味があって学校を選択した生徒の割合（%）	７３．４%	８５．０%	%	%	%
②（授業以外の）指導内容に興味があって学校を選択した生徒の割合（%）	９２．６%	９３．０%	%	%	%
③志願倍率　芸術科 普通科	０．９８ １．１３	１．０５ １．１５			

２　＜年間の取組報告＞

⑴　**コンソーシアムの研究**　８月 20 日(火)にアドバイザーを依頼した大正大学地域創生学部教授・浦崎太郎様（当時）から沼駿地区のコンソーシアム構築について、「県立高校と市町を繋ぐのはリソースも少ないので、むしろ県庁との繋がりをまず作り、そこから市町と繋がるべき。事業を継続するためには、行政の予算でコンソーシアムを運営し、民間から資金が集まる仕組みを作るべき。また実務を担当する人材を作るべき。山形県の最上地域のコンソーシアム、島根県の浜田市のコーディネーターが参考になるだろう」という内容の助言をいただいた。

⑵　**パネルディスカッション**　１月 28 日(火)に第２回沼駿地区探究学習研究協議会を開催し、各校の担当者及び担当管理職が分科会を開催し、連携校の取組やその課題を発表し、質疑応答により相互理解を深めた。

⑶　**探究学習に関する講演会**　10 月 15 日(火)に第１回沼駿地区探究学習研究協議会を拠点校と連携校の探究担当の管理職と教諭が参加し、高校教育課指導班からの説明、拠点校の計画の説明、本校のアドバイザーである産業能率大学経営学部教授・杉田一真様による講演会を実施した。

⑷　**生徒成果発表会**　11 月 14 日(木)に本校の総合的な探究の時間の生徒成果発表会を本校で開催する。これには連携校の担当者及び学校運営協議会委員等の外部の方にも参観を依頼し、感想や助言をいただいた。発表４分、ディスカッション３分、フィードバック２分、移動１分を４サイクル行い、班員全員が発表する形態をとった。

⑸　**先進校視察**　10 月３日(木)に島根県浜田市を副校長と探究推進室長で訪問し、「HAMADA 教育魅力化コンソーシアム」の取組、コーディネーターの役割等について聞き取りを行った。10 月 11 日(金)に山形県新庄市を副校長が訪問し、「新庄・最上ジモト大学」の取組、コンソーシアムのしくみ等について聞き取りを行った。

⑹　**探究学習による主体的に学ぶ力の育成の研究**　10 月 28 日(月)に学校等支援研修で本校の探究室を対象とし、静岡県総合教育センター高等学校支援課加藤博己氏を招いて、総合的な探究の時間におけるシラバスと学習評価の在り方に関して研修を行った。スクールポリシーに基づいた目標、育成したい資質と能力からコンテンツを考える重要性を再確認した。

⑺　**沼駿地区県立高等学校コンソーシアムの構築準備**　１月 28 日(火)に第２回沼駿地区探究学習研究協議会を開催し、本校の副校長と探究推進室長によるコンソーシアムの今後の予定についての説明を行った。地区の校長会でもこの計画の共有を図った。

３　＜特徴的な取組＞

⑴　１年生の総合的な探究の時間　「沼津活性化プロジェクト」

沼津市の課題を高校生の目線から設定し、解決策を他者と協働しながら考えた。

４月 30 日　産業能率大学プログラム　「主体的学習者育成プログラム」講師は産業能率大学杉田一真先生

５月 9.30 日　探究スキルの獲得　ブレインストーミング、KJ 法、マインドマップをクラス内で実践。

５月 23 日　沼津市役所による「沼津市の現状」講話　講師は沼津市役所政策企画課係長

６月６日　沼津市役所による分野別講演会　講師は教育、まちづくり、環境、広報など９つの課

６月 13.20 日　課題の設定、探究計画書作成　will-can-must フレームワークを用いて課題を設定

７月 4.11.23　情報の収集・整理・分析　対象者や実際の問題点に関する情報を収集・整理・分析
９月５日　訪問先アポイントメント　生徒自身が電話またはメールにて連絡することで社会性を向上
９月 12 日　SBS 番組プロデューサーの鈴木俊夫氏による「インタビュー講座」フィールドワークに向けた演習
10 月 11 日　フィールドワーク　市役所や、企業、教育機関等でインタビュー調査
10 月 17 日　フリーアナウンサー小沼みのり氏による「プレゼンテーション講座」人前に出て話すときの注意
11 月 28 日　クラス発表　各クラスにてポスターセッション形式で発表しクラス代表を決定
12 月 12 日　学年発表　優勝グループは、沼津の特産品であるみかんとお茶ケーキを試作。

⑵　２年生の総合的な探究の時間　「プロジェクトN」

沼津市という枠を越え、より広い視野で多角的な視点で各自の興味関心あるテーマを探究した。以下の７つの分野に分けて探究活動を行った。「産業振興・農林水産」「国際・グローバル」「環境・防災・自然科学」「健康・福祉」「教育」「観光・シティープロモーション」「文化・芸術」

４月 30 日５月９日　産業能率大学プログラム「定性調査」「定量調査」講師は産能大の杉田先生・齊藤先生
５月 23 日　分野別講演会　各界で活躍されている方の講演。講師の選定は同窓会と後援会に協力
５月 30 日　チーム分け　マンダラートを作成し、チームを組むことを促進
６月６.13 日　課題設定　Jamboard を使用し視覚的に分類
７月４.11.23 日　情報の収集・整理・分析　課題に対する仮説並びに解決への道筋の検討
７月 29 日　フィールドワーク　　市役所や、一般企業、教育機関などに出向き、インタビュー調査等を実施
９月 26 日　中間発表　「課題」「理由と背景」「仮説」「行っている調査」「今後の見通し」の５つは必須項目
11 月 14.21 日　学年発表　体育館にてポスターセッションの形式で開催した。行きたい学校づくりの連携校、アドバイザーである望月良憲氏､静岡大学東部サテライト研究員の石川登之子氏にもオブザーバーとして参加。
1 月 26 日　探究フェスタ参加　交流部門に３チームが参加した。
２月６日　　産業能率大学プログラム　「探究アセスメント」　これまで身についた力を可視化
現在産業能率大学とともに探究活動による生徒の変化を分析している。

⑶　芸術科の探究学習

音楽、美術、書道の各専攻とも生徒の学びの集大成、また地域芸術文化を広めるため展覧会、演奏会を行った。書道専攻、美術専攻と地域企業が地域特産である愛鷹茶を利用しての羊羹のパッケージデザインを行い、地域特産物としての販売に向かっている。音楽、美術、書道専攻ともに近隣の小学校、中学校での演奏会や指導を行い、地域活性化、芸術文化を考えて地域貢献を行うことのできる人材を育成した。

４　＜成果と課題＞

⑴　学校の魅力向上の実現について

連携校の報告書より

・沼駿地区全校で、それぞれで工夫を凝らした計画に取り組み、探究的な学習手法による主体的に学ぶ力の育成を実践できた。
・多くの学校で講師を招き講演等を行い学習の支援となっている。
・成果の発表会等で外部の方々を招き、地域の課題解決に貢献できるような取組を進めた。
・職員向けの研修を行ったり、情報を共有したりするなどの対応を進めた。

⑵「ゴールイメージ」に向けての進捗

・アドバイザーの助言及び視察により、行政や民間とのコンソーシアム構築及びコーディネーターの役割等についてイメージを持つことができた。
・拠点校が計画する沼駿地区の探究コンソーシアムの案を、校内、沼駿地区探究研究協議会、校長会で共有した。次年度はこの案の実現のために関係者と協働していく。
・学校等支援研修により、３年間の指導計画と教材の作成に向けた資質能力の育成を図る基本的な考え方について、担当者で共有を図ることができた。